

金型挙動監視システム「V-Mold」の販売を開始します

東海エレクトロニクス株式会社（代表取締役社長：大倉 慎、所在地：愛知県名古屋市）は、無線センシングを用いて金型の挙動を監視するシステム「V-Mold: Visualization of Mold」の販売を2024年4月から開始します。

本システムは、東海エレクトロニクス株式会社の子会社である東海テクノセンター株式会社が持つ計測技術を活かし、射出成形機の金型に設置可能なセンサを取付けし、成形時の金型内部を無線センシングすることにより、金型動作時や点検時の断線リスク・配線の煩わしさを改善します。

また、計測したデータを1ショット波形及び自動抽出した特徴点トレンドにより可視化することで、成形ショット時にリアルタイムで不良判断のサポートをいたします。

さらに、AIとの組み合わせにより成形条件の自動調整や不良判断した結果をリアルタイムに成形機へフィードバックするシステムへ発展させていく計画としております。当社はソリューションプロバイダーとしてお客様の課題に向き合い、改善に向けたシステムを引き続き構築して参ります。

■「東海エレクトロニクス株式会社」について

東海エレクトロニクスは、先端デバイスの提供や高品質なシステム開発を行うソリューションプロバイダーです。整備された国内外ネットワークで、お客様の想いに寄り添うビジネスパートナーとして、事業推進をトータルにサポートいたします。

V-Mold(金型挙動監視システム)

生産品質向上をサポート



製品についてのお問合せ先：東海テクノセンター株式会社 社会インフラシステム事業部
松矢 大 TEL：052-262-7640